

キリスト教関係者からも批判

世界平和統一家庭連合（家庭連合、旧統一教会）信徒への拉致監禁は、キリスト教の関係者からも批判が上がる。かつては違法性のない説得行為だと信じる者もいたが、近年は書籍やネット情報から悲惨な実態が伝わるようになり、「キリスト教会は悔い改めなければならない」との思いを強く持つ牧師たちもいる。



つきしろキリスト教会
砂川竜一牧師

日本のキリスト教会が家庭連合の信徒らを拉致監禁し、脱会を迫っていたという噂はかつて、神学校に通っていた頃に耳にしたことがあった。当時は説得をしている程度だろうと思っていたが、近年、それらの悲惨な実態を被害者らの記した書籍や講演会で知ることになり、心が引き裂かれ



独立系YouTuber牧師
岩本龍弘氏

愛知県在住で元日本基督教団牧師、現在は独立系YouTuberバー牧師の岩本龍弘氏は、2018年にYouTuber動画で日本基督教団が左翼の活動家の温床であることを暴露した。公開当時はまったく反響がなかったが、昨年3月中旬、この動画を編集してSNSに投稿したいという申

教会は危険なカルトだ」とレットルを貼り批判を繰り返していた。しかし、「脱会アドバイザー」と呼ばれる一部のキリスト教牧師たちが、多くの家庭連合信徒たちの人権を蔑ろにする形で拉致監禁を先導した罪は決して許されるものではない。彼らは、自分たちが何をすべきかを

エホバの証人、モルモン教は異端であるという認識を持つており、脱会工作についてもレクチャーを受けていた。新任教師オリエンテーションの講師の一人が「反統一教会急先鋒の浅見定雄氏だったので、家庭連合信者に對する脱会活動についての話も一通り聞いていた」

家庭連合信徒から、12年5カ月もの長期間にわたって監禁されていた信徒がいたことや、牧師らがそれで多額の謝礼を受け取っていたことも知った。「自分でもいろいろ調べてみて、家庭連合に関する悪評のほとんどがでっち上げだと確信することができた」

たり、自殺したりしていることも知るようになった。「極めて深刻で重大な問題だ。拉致監禁・強制棄教を教唆した牧師や弁護士を世間に野放しにしておいてはならない」と訴える。岩本氏にとつては、自民党による家庭連合との関係断絶、解散命令請求のいずれも「宗教迫害」だ。「政

そうしたようなほどの衝撃を受けた。拉致監禁行為が横行していた頃、新聞・テレビなどのメディアは一斉に「統一

常に神様に問わなければならない立場にありながら、新聞や雑誌などの「紙様」に従ってしまったのだ。本来であれば、父と子の

聖書で、モーセが約束の地「カナン」の前に、イスラエルの民に、「創造主なる神と偶像の神、どちらを信じるか自分たちで決めな

で終わらせてはいけない。もちろん、善意で活動を始めた牧師たちもいたかもしれないが、いつの間にかそれらの行為が犯罪になってしまった以上、日本のキリスト教会は傷つけてしまった家庭連合の信徒たちに、まずはしっかりと謝罪をしなければならぬ。

たとえこれらの事件に直接関わってこなかった多くのクリスチャンたちも、「自分たちはやっていない、知らなかった」と言っている。正しき道を選び進んでいくもの。監禁して自由を奪い、強制的に改めさせるなど言語道断である。「家族間の問題」という建前で法の目を掻き潜り行われてきたこれらの人権侵害を絶対にうやむやのまま

「この動画がきっかけで、数多くの家庭連合の信徒たちがX（旧ツイッター）をフォローしてくれたり、動画チャンネル登録をしていく」

「日本基督教団 組織的に脱会工作 監禁牧師「野放しにするな」

「この動画がきっかけで、数多くの家庭連合の信徒たちがX（旧ツイッター）をフォローしてくれたり、動画チャンネル登録をしていく」

「自分でもいろいろ調べてみて、家庭連合に関する悪評のほとんどがでっち上げだと確信することができた」

「極めて深刻で重大な問題だ。拉致監禁・強制棄教を教唆した牧師や弁護士を世間に野放しにしておいてはならない」と訴える。

「極めて深刻で重大な問題だ。拉致監禁・強制棄教を教唆した牧師や弁護士を世間に野放しにしておいてはならない」と訴える。

「極めて深刻で重大な問題だ。拉致監禁・強制棄教を教唆した牧師や弁護士を世間に野放しにしておいてはならない」と訴える。

櫻井教授の「統一教会研究」への徹底的反証！

反証 櫻井義秀・中西尋子 著 『統一教会』 魚谷俊輔 著

【目次から】

- 「はじめに」への反証
- 「第Ⅰ部 統一教会の宣教戦略」への反証
- 「第Ⅱ部 入信・回心・脱会」への反証
- 「第Ⅲ部 韓国に渡った女性信者」への反証
- 「おわりに」への反証

View BOOKS

●定価 = 本体 4,000 円 + 税 A5判・上製・840 ページ

ご注文は全国書店・ネット書店まで ●お問合せ 世界日報社 出版部 TEL:047-314-5715 FAX:047-314-5709 世界日報社 〒272-0013 千葉県市川市高谷 1-11-13-2F